

X 一人暮らし・ 食事

◆ 学内食堂の満足度は・・・
多摩キャンパスと後樂園キャンパスでは大きな開きあり
昼食時の学内食堂の利用にも学部での大きな開きあり

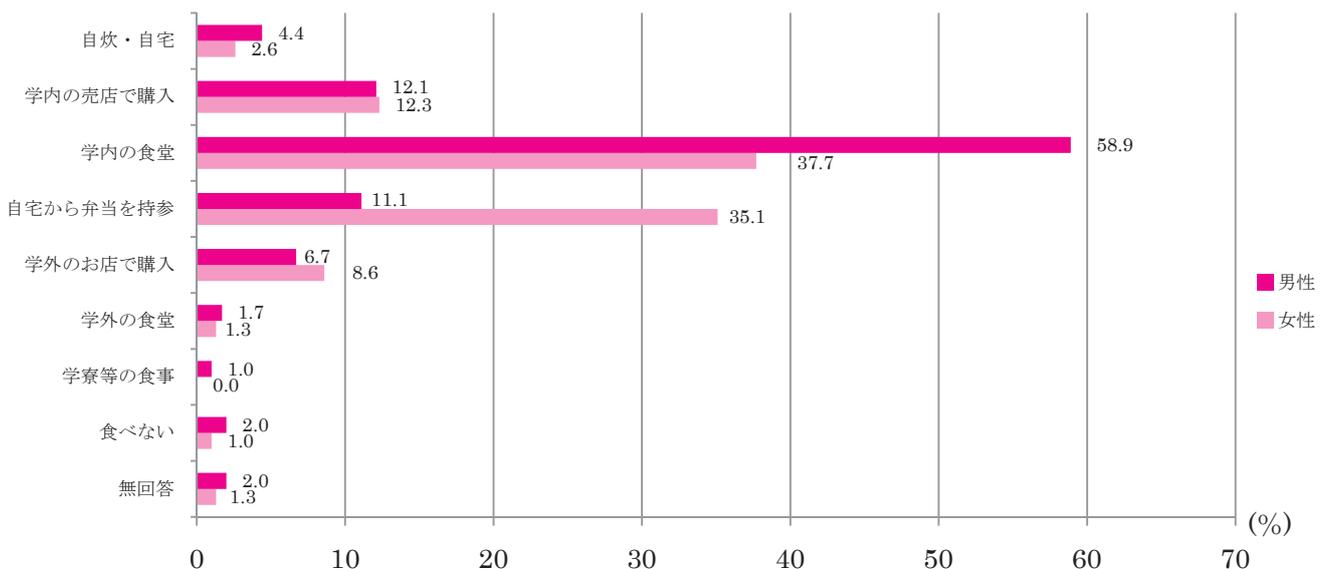
Q68. 食事は主にどのようにしていますか。

Q68-1 朝食は主にどうしているか。

本学全体では、78.3%（前回調査比：4.5ポイント増）の学生が自宅で食べている。
逆に朝食をとらない学生は、14.0%（前回調査比：2.1ポイント減）となっている。
学内の食堂を利用する、または売店で購入する学生は、全体の0.4%である。

Q68-2 昼食は主にどのようにしているか。

本学全体では、約6割の学生が学内の食堂か売店を利用している。
前回調査と比べて、「自宅から弁当を持参」が男女とも割合を増やし、本学全体では23.2%（前回調査比：
6.1ポイント増）となった。



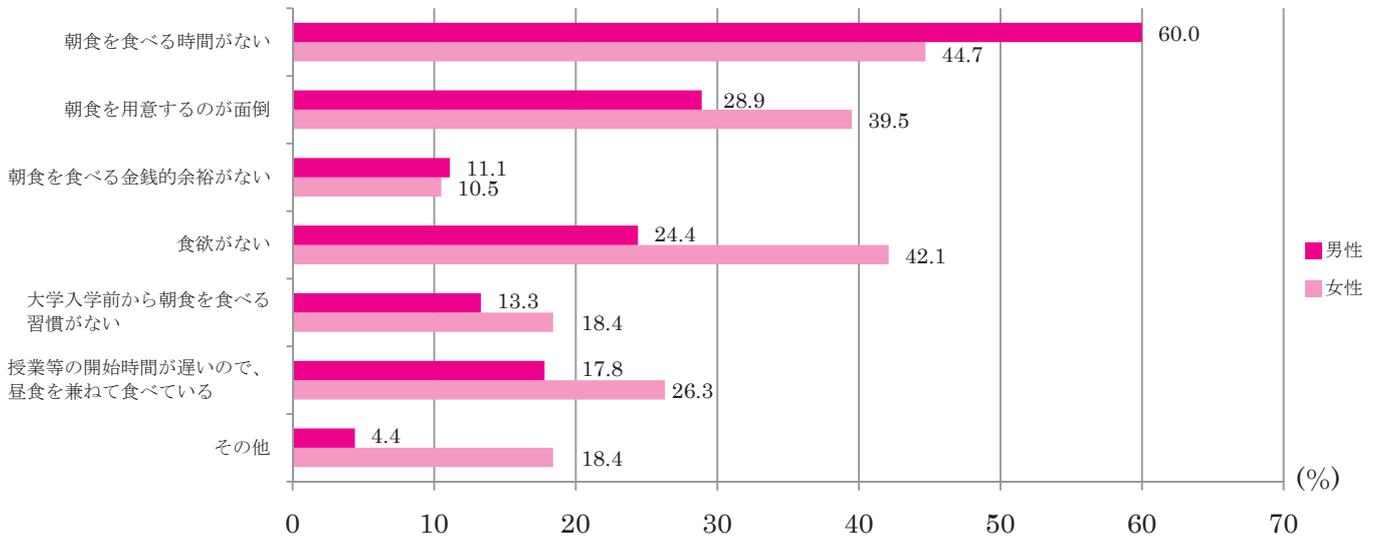
Q68-3 夕食は主にどのようにしているか。

本学全体では、75.7%（前回調査比：6.2ポイント増）の学生が自宅で食べている。
学内の食堂を利用する学生は、全体の5.8%（前回調査比：2.0ポイント減）と前々回、前回調査と続けて減少している。

Q69. なぜ朝食を食べないのか。

(あてはまるものをすべて選択。Q68-1で「食べない」と回答した学生のみ)

前回調査と比べて、男子学生は、「朝食を食べる時間がない」が60.0%（前回調査比：15.3ポイント増）、女子学生は、「食欲がない」が42.1%（前回調査比：12.5ポイント増）と回答する割合が大きく増えた。



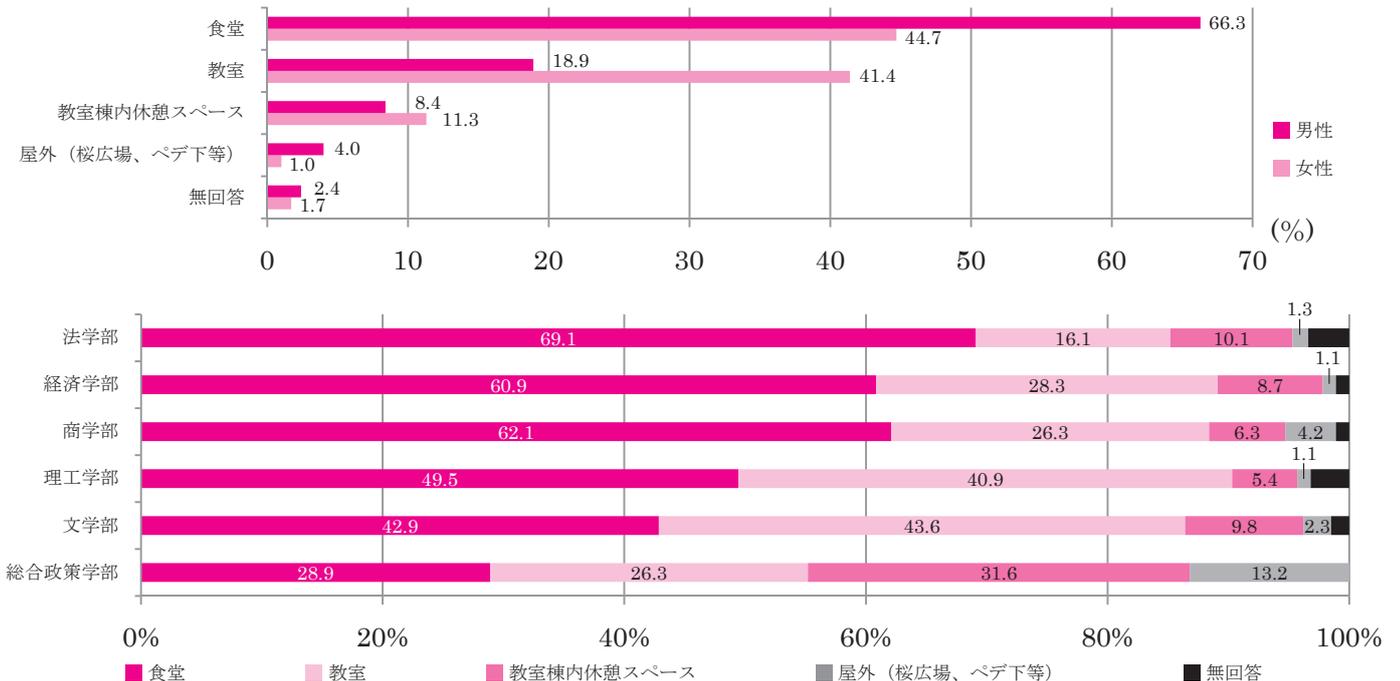
Q70. いくらであれば朝食を食べるのか。

(Q69で「朝食を食べる金銭的余裕がない」と回答した学生のみ)

対象者全員が、0～300円の間を希望している。

Q71. 学内において、昼食は主にどこで摂ることが多いか。

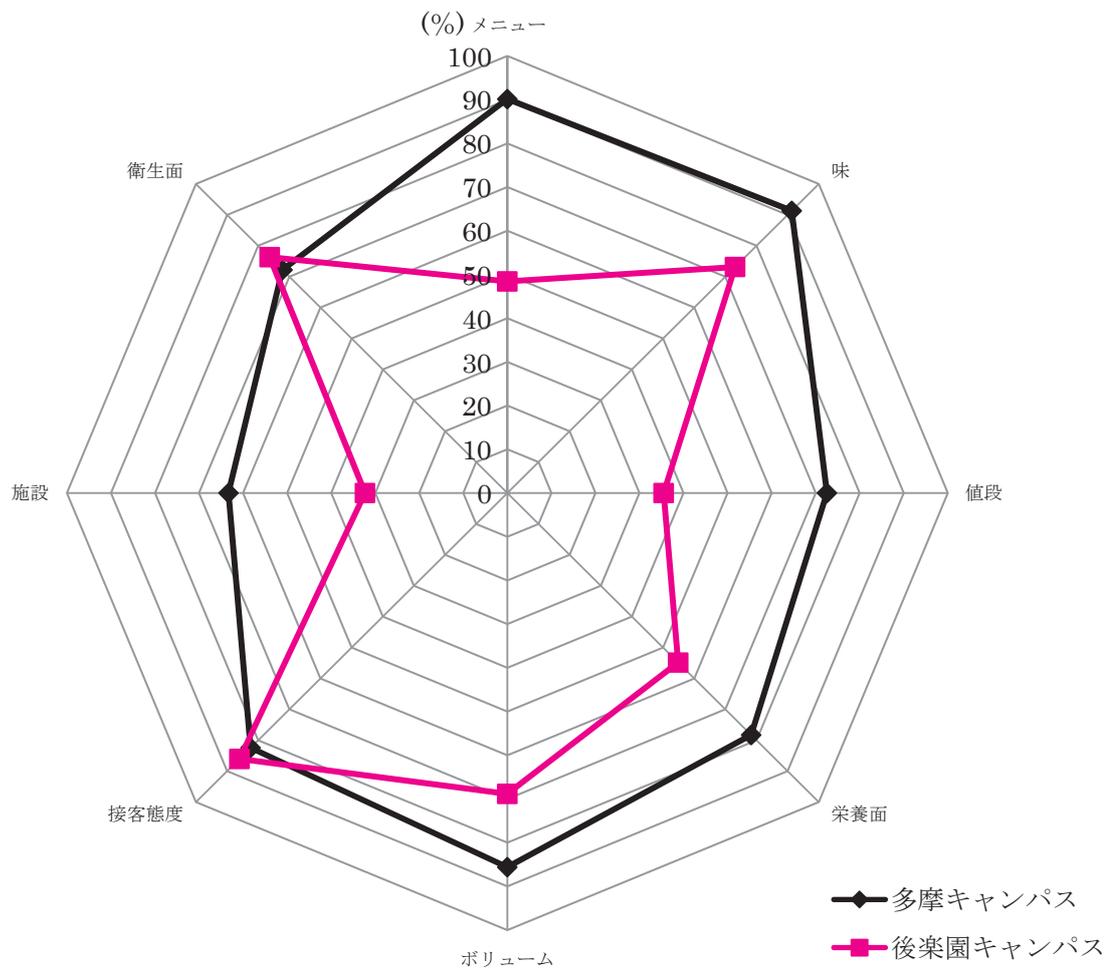
男子学生は、「食堂」が6割を超える割合になっているが、女子学生は、「食堂」と「教室」がほぼ同じ割合となっている。法学部、経済学部、商学部では「食堂」を回答した割合が6割を超え、理工学部、文学部では「食堂」と「教室」がほぼ同じ割合となり、総合政策学部では「教室棟内休憩スペース」が3割を超える結果となった。



Q72. 学内の食堂について、どのように感じているのか。

キャンパスによって満足度の割合が大きく違い、後楽園キャンパスでは、「やや不満」、「とても不満」といった声が高い。

キャンパス別学食満足度グラフ（「とても満足」＋「やや満足」）



Q73. 食堂での昼食は主にどのようなメニューを選択することが多いか。

男子学生は、「丼もの」（43.4%）、「定食（洋食）」（40.7%）、「定食（和食）」（37.4%）の順で割合が高く、女子学生は、「定食（和食）」（40.7%）、「うどん・そば」（38.7%）、「丼もの」（35.1%）の順で割合が高くなっている。

特に、女子学生の「パン（ハンバーガー除く）」の割合（21.9%）が、男子学生（4.4%）に比べて約5倍となっているが、逆に男子学生の「カレー」の割合（21.2%）が女子学生に比べて約3倍となっている。

学部別の特徴としては、理工学部では「ラーメン」の割合（54.8%）文系学部（26.3%）が高くなっている。

Q74. 食事をする場として以外に、学生食堂にどのような機能が必要だと思うか。

本学全体では、①「一人で休憩する場」(58.7%)、②「少人数の友人とサブゼミやミーティングをする場」(37.5%)、③「一人で読書や勉強をする場」(37.0%)の順で割合が高い結果となった。

